

令和3年度第3回 学校運営協議会議事録

1 参加者

○学校運営協議会委員

石川 優香 様 (現PTA会長) 畑田 麻衣子 様 (現PTA役員)  
内田 美帆 様 (元PTA会長) 浦野 知美 様 (主任児童委員)  
黒堀 誠一 様 (少年野球チーム代表) 田村 裕一 様 (少年サッカーチーム代表)  
富澤 智代 様 (本校放課後子供教室推進委員長) 藤浦 大輔 様 (おやじの会代表)  
大堀 由紀江 様 (公募委員) 下口 千秋 様 (公募委員)

○学校職員

浅野 正道 (小金井第一小学校校長) 朝井 貴世 (小金井第一小学校副校長)

2次第

- (1) 開式 10:30
- (2) 校長あいさつ
- (3) 授業参観
- (4) 本校の教育活動の報告

≪校長より≫

・学校要覧にある学校経営委方針は、本校の学校運営に係る柱である。特に、特色ある教育活動として、児童が主体的に考え、話し合い、表現する授業を継続し、社会科、生活科を中心とする校内研究の活性化に重点を置いている。本日の授業参観でご覧いただいたとおり、教師がいっぱいしゃべって引っ張る授業ではなく、子供たちが主体的に考えて、必要に応じて話し合っ、表現する。表現というのは、声で話をするというだけではなく、クロムブックの中で話し合うということも含め、相互に意見交換するということもやってきた。その中で、子供たちは考えて話し合っ、調べて考えて話し合っ、表現するという事は、学力を確かなものとして身に付けさせる上で、非常に貴重なやり方である。

・コミュニティースクールになったので、家庭や地域と、それから保護者の皆様とも連携した協働的な教育活動ということが、大きな柱である。梅の実学級の授業は、ご覧いただいたとおり、丁寧に個々の子供に合わせ、工夫してやっていた。今日のハッピーフレンドフェスティバルの中では、2時間目に異学年で交流したときに、梅の実学級の子供たちも、普通に入って一緒に活動をしており、そのような交流学習を日常的に実施している。雨が降った時は、休み時間に6年生が梅の実学級に来て、遊びに誘っている。また、一部の教科で、通常の学級に入って一緒に授業を受けるという、交流学習も進めている。本校の教育活動については、非常に充実した教育活動を展開している。

・令和4年度新1年生が、10月1日現在の見込みでは141名。加えて昨年度から三小学区の中で、一小への入学を希望すれば、新入生に限り、隣の一小と緑小に入れることになった。来年度も、すでに十数名の三小学区の子供が一小への入学を希望している。新入生の見込みが150名を超える状況で、5学級は確実。小金井市の見込みでは、2027年度までこの状況は続くとしている。その場合、空き教室がなくなるのでどうしたらよいか教育委員会と協議している。今後、新しい情報を学校運営協議会の皆様に提供していく。

(5) 学校評価について

(6) 協議

≪委員の皆様よりご意見≫

・PTA 副会長より、PTA 改革案についての説明。資料あり。解決策の一つである、完全立候補制の提案。  
・PTA 活動は子供が安心・安全で、学校に通うため、居心地の良い場所であってほしいという願いで、皆さん関わると思う。運営委員会で学担さんが何か提案してくれ、それは良いということになり、P連から市に働きかけ実現した。今の子供たち、保護者にも恩恵があるし、また、将来の一小にも恩恵が続く、そういうのがPTA活動の1つ。在籍している6年間だけでなく、どんどんつながっていく。小金井市の落ち着いた教育環境は、これまでの方が築き上げた環境。PTA活動って種まきみたいなもの。すぐには結果が出ないけれども、大事に育てていくことによって、花が咲いていく。150周年をうまく利用してみんなが主体

的に関われるような仕掛けをしてみたらどうか。そうしたら、PTA 活動って面白そうだから入ってみようとなると思う。活動が見えてくると、参加してくださる方が増えると思う。みんなを巻き込むような、活動の見える化、取り組んでいただいている役員、委員さんの様子を見ていただくのも良い。

・子供たちにとって安全な通学路を、継続的に議論していかなければいけないと思った。PTA の役員決めは非常に大変で負担が大きい、新たなチャレンジに地域の皆さんも、温かい目で見守ってくれる、そこが小金井一小的地域の素晴らしさ。カンガルーポケットで子供たちを見守ろうというような、土壌ができ上がっている。意見を募る場というのを大事にすると良い。

・完全立候補制が良いという方が、では、あなたは立候補するかという質問はしたか？完全立候補制が良い、でも、自分はやりたくないという方が大半だと、おそらく失敗するということ踏まえた上で、導入するかどうかを考えたほうが良い。業務のスリム化について、PTA って何するの？ P と T である T の部分からも、ご意見をたくさんいただいて、PTA 活動で学校が何を求めているのか、何が必要なのか、整理する必要がある。大前提として、P と T としっかり寄り添っていかないと、PTA 活動が成立しない。校長先生と副校長先生と共に歩んで、寄り添っていった時、とても私はやりがいがあり、とてもよかったと思っている。やっぱり学校と寄り添っていく、今大事なのはそこである。何が必要か必要でないかを整理してからでないと、ここまで踏み込んでいくのは大丈夫なのかなと思う。

・完全立候補制について、立候補が出ないなと思うので、互選会を廃止して立候補制の提案をする前に、まず業務のスリム化をして、業務のスリム化&これは役に立つぞと思うような活動に変えていく。活動をわかりやすくして、その上での、完全立候補制のほうが良い。

・PTA が何のためにあり、どういうことをしていくのかというお話したか。それが見えてこない。

PTA からのお知らせで大事なものは、どう伝わるか。いっぱい説明したからわかるでしょ、ということではなくて、PTA は毎回同じことでも、必ず言うてから、それに関してどうですか？と付けないと、伝わらない。大概都合の良いところだけ取ってしまうことが多い。自分たちがわかるから、みんなわかるだろうってことはない。誤解のないように伝えることが、一番大事。また、ボランティアも、実際 1 回活動してみたら交流ができ、先輩の保護者からのアドバイスを受け、もっとやってみよう、違うこともやりたいな、という気持ちになる。なぜ、完全立候補制で気楽な気持ちで参加できるようになるのか理解できない。

・PTA のスリム化は良いと思うが、ネガティブなイメージが先行して、この資料もすごく悪いイメージを、やってない前から持たれている。やってみると結構面白かった、自分の人生的にも豊かになったという人が多い。スリム化すると同時に、やると楽しいよ、良いこともある、時間があったら参加しましょうとしていけば良い。他地域で、運動会を PTA の会費で、外部の撮影の業者を頼んで、録画しておいてもらって、パスワードをかけて配信するということがあったそうだ。PTA 会費で、少額の負担で見ることができる。コロナで、家族全員が揃って見ることができない、他学年を見られない。PTA の方でやるよって言ったら、魅力の 1 つになるのではないかな。先生の手が回らないところを分担するにも、誰かまとめて指示を出す方がどうしても必要。立候補がなかったら、今年の活動は無しというのは避けてほしい。

### 《校長より》

・PTA についての話し合いを更に深めるため、11月20日14時からの PTA 運営委員会に、学校運営協議会委員の皆様、オブザーバーとしてご参加いただけるようお願いしたい。

(7) 給食試食

(8) 閉式 13:00

### 3 次回開催について

第4回開催 2月22日(火)10:30~ ミーティングルーム

- 内容
- ・授業参観
  - ・本校の教育活動の報告
  - ・学校評価について
  - ・給食試食 他